

資料-7

幟立て、注連縄張り、帳場作り、楽屋作り、電気工事の作業分担

日時：10月13日（日）8時～

場所：神社境内、祭礼原、落合橋、大船橋ほか

作業名	作業内容	担当常会	備考
幟立て	支柱は16か所、幟は全部で22枚 「神社境内図」を参照 境内の祓い殿周辺の9か所と、駐車場～ガヤの木～舞殿の7か所を2班に分かれて立てる。	各常会より2名、計10名	どれをどこに立てるか？ 5人1組で立てられる？ 資料「幟の種類と設置位置」参照
注連縄張り	大注連縄6本。取り付けてから中央に1つと間隔を取って2つ、計3つの房とその間に紙垂を付ける必要がある。小注連縄は、25か所で紙垂を付ける必要がある。 「神社境内図」と「注連縄の種類と本数」を参照		高所作業は屈強な人にお願いし、大部分は地上での作業なので女性もできる。
大注連縄（A班） 同（B班） 小注連縄（D班） 同（E班） 祭礼原班	祓い殿（2本）と若宮社（1本） 境内の鳥居（2本） 祓い殿、小注連縄を祭礼原の鳥居、小注連縄を神輿台と出口お旅上（5か所）の小注連縄と青竹の取付け 祭礼原の幟2本、大注連縄1本、小注連縄2本を取り付ける。	木舟 大坪 駅組 駅組 市場	多田富雄、新丸一夫両氏が参加
帳場作り	足場用単管パイプを組んで作る。 大きさが不明だが畳1畳の大きさか？	中所	4人程度で作れるのではないか？ 材料は神輿倉の床下
楽屋作り（17日）	舞殿をブルーシートで囲う。 幕の取付け、畳の配置など	大坪	
電気工事（18日）	音響機器（マイク、アンプ、スピーカー）の取付けと調整	大坪	

幟の種類と立てる場所

幟の種類 (寄贈者名)	枚数	所属	支柱記号	備考
川地遺族会	2	全体	ア、イ	若宮社に立てる。
長岡邦雄 長岡ハルエ	2	中の村	ソ、タ	祭礼原に立てる
新丸哲二 新丸宣子	2	中の村	ケ、コ	神社入り口近くに立てる
中田アヤノ	1	中の村	サ	神社入り口近くに立てる
中田庄一	1	中の村	シ	神社入り口近くに立てる
山田節二	2	川地農協組合長		うち1枚は破れ
宍戸 強 宍戸幸恵	2			
国鉄OB有志	2	全体	ス、セ	使うことになった
両志和地遺族会	1		オ	
吉崎若一	1	瀬谷	ク	
渡邊順市 渡邊サダ	2	瀬谷	チ、ツ	
中村宝一	1	中瀬谷	ウ	
重安勝一 桶川兼太郎	1	瀬谷	カ	
中河十五日	1	瀬谷	キ	
国政 泉	1	瀬谷	エ	
計	22 枚		18枚	

注連縄の種類と本数

〔大注連縄〕

設置場所		長さ	青竹切 (4本)	房 (計 14 個)	御幣
祓い殿	内部	3.5m(毛切り)	無	無	○
祓い殿	入口	6.0m(毛切り)	無	総 3 個	○
白鳥神社	入口	4.0m(毛切り)	4.0m	総 2 個	○
鳥居	門柱(石)	5.0m	5.0m	総 3 個	○
鳥居	木作	5.0m	5.0m	総 3 個	○
鳥居	祭礼原	5.5m	5.5m	総 3 個	○

〔小注連繩〕

場所	長さ	本数	青竹	場所	長さ	本数	青竹
祓い殿	26m	1		踏切前	5m	1	
神輿倉	8m	1		駅舎前	6m	1	
若宮社	6m	1		大船橋	3.5m	2	4
湯沸し場	8m	1	4	落合橋	3.5m	2	4
白鳥社	5m	1		金の御幣(集会所)	6m	2	2
舞殿前	8m	1		金の御幣(中)	6m		
杉の木	3.5m	2		神輿置き場	15m	1	4
杉の木間	5m	1		祭礼原出口	6m	1	2
ガヤの木	3.5m	2		御幣櫃	4m	1	
山伏墓	1.5m	1	2	児玉氏宅横	6m	1	2
相撲取り墓	1.5m	1	2	計		25	26

志賀神社境内図 (R6年9月作成)

